

令和８年度第１回総合教育会議 会 議 録（概略版）

と き：令和８年９月２５日（金）１４時３０分

ところ：湯前町役場 応接室

湯 前 町

令和８年度第１回湯前町総合教育会議 会議録（概略版）

令和８年度第１回湯前町総合教育会議を令和８年９月２５日午後２時３０分より湯前町役場応接室において会議を開いた。

出席者

湯前町長 長谷 和人
湯前町教育長 栃原 秀明
湯前町教育委員会委員 工藤 維春
湯前町教育委員会委員 林 敦子
湯前町教育委員会委員 藤岡 祐子

委員以外の出席者

教育課長 赤池 寛子
教育課主幹 吉田 真紀

議題

- （１）湯前町立小・中学校における働き方改革推進プランについて
（湯前町立小・中学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画）
- （２）スポーツ施設の使用料の改定について
- （３）スポーツ災害見舞金制度とスポーツ災害共済基金について

【配布資料】

１ 議題資料

- （１）湯前町立小・中学校における働き方改革推進プランについて
（湯前町立小・中学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画）
- （２）スポーツ施設の使用料の改定について
- （３）スポーツ災害見舞金制度とスポーツ災害共済基金について

1 開 会 午後2時29分 教育課長

2 町長挨拶

- ・9月20日のくま川鉄道全線開通記念式典出席への御礼、イベントも盛大に挙行できた。
- ・城泉寺屋根・九重石塔修理事業の入札及び臨時議会での契約承認後に11月頃からの工事を予定。
- ・10月25日町民体育祭、10月4日に奥球磨駅伝大会、スポーツの秋となり委員の皆様にもお世話になります。
- ・本日3つの議題について議論をお願いしたい。総合教育会議で方向性を決めさせていただきたい。また関係団体にも説明しどのような運びで行くのかを決めさせていただきたい。

3 教育長挨拶

- ・小中一貫教育の推進、歴史文化、伝統芸能継承活動、漫画カルチャーを通した特色ある教育環境づくりに取り組んでいるが、社会情勢が急速に変化し、子どもたち予測困難な未来、豊かで心身の健康を保ちながら、確かな学力を身に着けさせる必要がある。子どもたちの安心安全な学びを支える環境の整備について活発なご意見をいただきたい。

4 会 議 議事進行：長谷町長

(1) 湯前町立小・中学校における働き方改革推進プランについて

(湯前町立小・中学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画)
教育長より資料説明

- ①令和5年6月策定したプランを令和8年3月に改訂した。改定内容は湯前町立小・中学校教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について。
- ②令和6年度本町教職員の時間外在校等時間の実態について月45時間以内78%、45時間以上21%、月80時間以上1%。年間360時間以内55%。この実態を受け目標値について改訂した。そのほか、ワークライフバランスや働きがい等に関する目標について説明。
- ③その他基本方針、湯前町教育委員会の取り組み、関連する取り組み、今後のフォローアップ、働き方改革の評価指標、働き方改革の推進体制、進捗管理など資料に沿って説明。
- ④R8度7月までの超過勤務者の状況を報告と合わせて、月80時間以上の者についての詳細報告。

【質疑等】なし

(2) スポーツ施設の使用料の改定について

- ①湯前町社会体育施設利用料は平成3年に改訂して以来現在まで改定していない。現在の料金設定の状況、球磨管内自治体との比較及び町内・町外料金の設定状況について説明。町内・町外料金設定しているのは本町と水上村、多良木町、あさぎり町、その他は町内料金のみ。
- 利用料を上げたほうがよいのか、現状のままでよいのか議論いただいた。

【質疑等】

工藤委員

- ・他自治体と比較して概ね安い設定であるので、現額の1割程度上げてよいのではないか。体育館の午前520円は600円ぐらいでもよいかと思う。

林委員

- ・町外利用者は多いのか。

教育課長

- ・テニスコートは町内利用者がほとんど。グラウンドについても同様。夏休みなどは町外者の利用が少し増える。

林委員

- ・町外利用があまりおられないなら、計算などの手間を考え、同じ料金でよいと思うが、値段は少し上げてよいと思う。照明はここご時世安すぎると思う。施設の高さにもよるので、設備の状況で料金が高いくわかれればよいですが、湯前の設備はいいほうではないのか。

教育課長

- ・グラウンドの照明は古いので、改修の時期に来ている。B&G体育館は既にLED化になっている。

藤岡委員

- ・子どもたちは体を鍛えるのが趣味であるが、B&Gのトレーニングルームはマシンが少ないので、有料でも多良木の体育館に行く。マシンが充実していると高くても町外に行く。施設の新しいか古いかと充実度によって値上げ、高くても行って体を鍛えたいと思うことも関係するのではないかと思う。

町長

- ・現在のトレーニングルームは元々はミーティングルームであったことから、スペースも限られている。B&G財団の助成金を活用し増築できないか考えてみようと思う。
- ・これまでの議論から少し値上げでもいいのではないかと思う。

教育課長

- ・町内・町外の利用料金の設定に関しては、町外利用者がそれほど多くないことから、設定する必要性は感じないが、町民の公平性の確保という部分では必要であることだが、町外料金を設定すれば町外からの利用者が減少することにもつながる可能性もあるので、同一料金としてたくさん利用いただきたい思いはあります。

- ・プールの利用料金も安い、幼児・小学生が同一料金である、と一般質問のなかでもありましたが、あさぎり B&G も同一の料金設定となっている。

林委員

- ・プールの利用料は町で決めてよいのか。

町長

- ・それは可能です。

藤岡委員

- ・子どもは安くし大人を上げてよいのではないか。

林委員

- ・野球場とソフト場の使用料が異なるのはなぜか。

教育課長

- ・夜間使用の場合が料金設定に差がありますが、野球場とソフト場の照明の量が違うためであります。

工藤委員

- ・体育館も 500 円ずつぐらい上げてよいような気がします。水上村の体育館は充実していない。

町長

- ・500 円ぐらいとの意見も出ましたので、そこも基準にしながら検討してみます。

林委員

- ・消費税が上がるたびに改定すればよかったと思う。理由付けになる。

町長

- ・上げる方向で検討していきたいと思います。またお諮りしたいと思います。

(3) スポーツ災害見舞金制度とスポーツ災害共済基金について

教育課長より資料説明

- ①スポーツ災害共済会制度からスポーツ災害見舞金制度への移行の経緯、基金の構成と運用状況、毎年度の支給状況と球磨管内での類似制度の有無とその内容、現在のスポーツ災害見舞金制度の事務の流れについて説明を行い、委員にご意見を伺った。

町長より説明

- ①この制度を解体しようとしても、それぞれの団体のご意見を伺う必要がある。簡単に町に入れられるものでもない。区長会でもご提案をいただいたが、まだ話が進んでおらず、まずは総合教育会議で慎重にご意見をうかがってから、分館長とも議論する必要がある。現状のままでよいとの意見があればそれでも良いと考える。年間の支給実績から長い期間はこの原資で運用可能であるが、何某かの活用方法も考えなくてはならない。例えばの話ですがスポーツ振興補助金に充てるとか、その前に段階を踏んでいきたいと考えています。

【質疑等】

工藤委員

- ・町長がお話のように、一般財源に入れてスポーツ振興に使ってよいと思う。この基金を各分館・スポーツ協会・町に返すということはかなり大変な作業になると思うので、一番良いのはスポーツを充実させていくために使うことが皆さん納得すると思う。

林委員

- ・私も工藤委員の意見に賛成です。払った人と使う人が違うので、戻すより有効に使ったほうが良い。

藤岡委員

- ・私もほかの委員さんと同じ意見です。見舞金の支給実績も少ない状況であるので。

町長

- ・例えば現在の支給実績から当面の必要額を差し引き、残金を町へ帰属させ、仮称ですがスポーツ振興基金として、各種スポーツ大会の補助金の財源に充てるなど、あくまで例ですがそのように活用するなど。今ある基金を戻すなら各分館からの積み立て額をそのまま返さなくてはならない、複雑になってくる。
- ・委員さんからの意見を元にモデルとなるものを作ってみます。モデルケースをもとにスポーツ協会や分館長会議で協議いただくことにしたいと思います。

教育長

- ・町長が例として挙げられたスポーツ基金に全額入れるのか、一部をいれるのか、様々な考えがあるが、残せば事務は残ったままとなる。

町長

- ・再度モデルケースを総合教育会議にお諮りしたいと思います。

5 その他

- ①10月5日開催の子ども議会で「子ども食堂の設立について」の質問があるため、質問内容を説明し、質問内容にある「孤食の割合」が実際に本町にも当てはまるのか、そのような話が聞こえてこないことから、子ども食堂に関する情報とご意見をいただいた。

【質疑等】

教育長

- ・多良木町の子ども食堂は、住民主体で子ども食堂があつたらいいのではないかと立ち上げられ、その中には民生委員、主任児童委員が入っておられる。

町長

- ・子ども議会の質問では町が主体で行ってはどうかという内容ではないかと思うので、答弁は慎重に行わなければならない。他の自治体での実施状況はどうか。

林委員

・人吉市は鳥飼香代子さんが入ってやられているというお話は聞きました。

工藤委員

・町主体で行うのはちょっと早い気がします。

吉田主幹

・保健福祉課にいたときに朝食を保護者が食べないので、子どもにも作らないという話は聞いたことがあります。

藤岡委員

・小中学校に「ひとりでご飯を食べているか」のアンケートを取ったらどうか。

教育長

・子どもたちがちゃんと回答できているか、という部分がある。
・多良木町にある子ども食堂は利用が多い。子どもだけでなく支援に入る大人も利用されている。

吉田主幹

・この提案が子供たちから出ているというのが気になる。実態により助けてほしいと訴えているようでもある。

工藤委員

・子ども食堂はボランティアが出発ではないかと、予算不足の場合に補助をするなど。

林委員

・行政が行うのは違うのではないかと思います。

②町長より球磨川鉄道乗ろう運動について周知。10月1日発行広報湯前にて1世帯3回使える乗車券を配布、乗ろう運動への協力依頼。また、球磨川鉄道沿線開通関連各種イベントの及び漫画フェスタの周知がなされた。

午後4時17分 閉会

作成者 教育課長 赤池 寛子